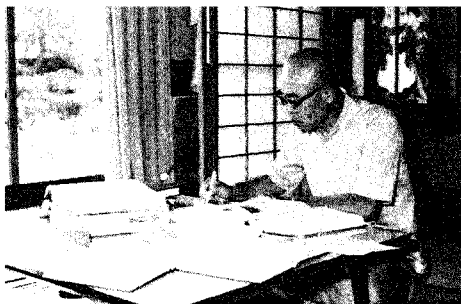


9月のあゆみ

日	曜	行 事 内 容
1日	(月)	総合防災訓練 (宝小学校他)
6日	(土)	一般公開講座 (13日、20日、27日)
8日	(月)	都留市民と知事との対話 (文化会館) 選挙管理委員会
9日	(火)	胃集団検診 (~10日) 県下消防職員親善ソフトボール大会 (市民グラウンド)
10日	(水)	身体障害者巡回相談 選挙人名簿定時登録
12日	(金)	国保運営協議会 (第一会議室) 敬老年金支給・88歳以上、結婚50年、60年の方に、巡回訪問激励 (~14日)
15日	(月)	消防宝分団第5部小型動力ポンプ入魂式 総合スポーツ公園十日市場地区地権者会議
16日	(火)	文科大学前期末試験 (~22日)
18日	(木)	国道バイパス法能地区地主組合役員会
19日	(金)	9月定例市議会閉会 地震について研修会 (都二中3年生来賓) 「都留市民のつどい」移動640 (市役所前庭)

日	曜	行 事 内 容
20日	(土)	「都留市民のつどい」 ふるさと演芸会 (市民会館) NHK番組展・古民具展 (~24日) 文化会館
21日	(日)	「都留市民のつどい」 600こちら情報部・イラスト展とサイン会
22日	(月)	都市計画街路 (四日市場~古川渡線) 地元関係者 説明会
23日	(火)	「都留市民のつどい」 ミニバスケットボール交歓大会 (都二中)
24日	(水)	市議会本会議 (一般質問) 「都留市民のつどい」FMヤングステージ (市民会館)
25日	(木)	市議会本会議 定例農業委員会会議 中央道四車線化に伴う買収事前協議 (長者町と鷹の巣)
26日	(金)	市議会決算特別委員会 中央道四車線化に伴う買収事前協議 (夏狩)
27日	(土)	「都留市民のつどい」 じょうずな話し方教室 (文化会館) 中央道四車線化に伴う買収事前協議 (古川渡)
29日	(月)	市議会決算特別委員会 (~30日) 国道バイパス法能地区地主組合会議
30日	(火)	「都留市民のつどい」 おかあさんの勉強室 (文化会館)

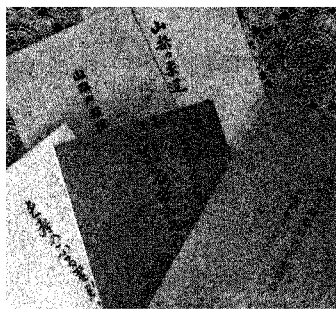


この調査書は、窪田さんが五年の歳月を費やしてまとめたもので、この時代の都留郡については、歴史学的にも、民俗学的にも不明瞭な部分が多かっただけに関係方面から注目されています。

この調査書は、「甲斐都留郡の古代を探る」と題して、古代都留郡の中心地が都留市だったという説にスポットを当てています。窪田さんによると、古川渡という地名は、古郡戸(ふるこおど)の転化ではないかとし、郡戸とは、郡役所の置かれた所を指す呼称で、結局、現在の禾生、古川渡地区が、古代都留郡の郡役所の所在地で、与繩地区の熊野神社に、矢の先に使った黒曜石が神体として祭られていることから、郡司(こおりのつかさ)にあたる矢作部の部民がここを根拠地にしてきた可能性が

ふるさとづくりコーナー

古代の郷土史に初めてメス!!



強いと推測しています。また、この調査書では、七世紀から八世紀にかけて新羅から移り住んだといわれる「秦氏」と大幡という地名との関係についてもふれています。秦氏が織物と農業の技術を住民に教えたこと、藤原氏と姻せき関係にあったこと、大幡に荘園のようなものをもっていたこと、砂金の採取法の伝授など、帰化人が、この地方の土着の民にもたらした影響について、粘り強い現地調査に基づいて解明しようとしています。

この調査書は、窪田さんが五年の歳月を費やしてまとめたもので、この時代の都留郡については、歴史学的にも、民俗学的にも不明瞭な部分が多かっただけに関係方面から注目されています。

窪田さんはまた、スポーツの面でも有名で、柔道六段の腕前をもっており、みずから道場をつくり、子供たちに、スポーツを通じての精神力の養成にも努めています。柔道けい古のあい間にも、自分たちの郷土についての講話などを行ない、精神面からのふるさとづくりにも一役買っています。窪田さんは、現在、市郷土史研究会の副会長を務めており、恵まれた体軀とユニークな推察力には定評のあるところで、今後も古代史を中心に郷土史に新たな視点を与えるものと期待されています。